

鮎壺公園NEWS

町では、第5次総合計画や第2次都市計画マスタープラン等の計画のもと、誰もが安心・安全や幸せ、豊かさを実感できるまちづくりを進めています。
その取組のひとつとして、まちの中心拠点である下土狩駅に近接し、鮎壺の滝に隣接する「鮎壺公園」について、これまで町民と共にワークショップや勉強会を交えながら、概略設計・実施設計を行い、現在、工事に着手すると共に、管理運営方法の検討を進めています。

公園概要

場所 下土狩 1069-1 ほか **面積** 約 1.7ha **整備期間** 令和3年7月～令和6年度中(予定)
主な機能 芝生広場・交流施設・大型複合遊具・キッチンカースペース・展望デッキ・駐車場等



イメージ図

令和4年度 history



イメージ図

交流施設的设计

町民ワークショップ等でまとめられた鮎壺公園の整備や利用の考え方をふまえ、交流施設の設計を実施しました。「交流」をテーマに、多世代が交流できる休憩施設をつくっていきます。

令和4年
12月14日



景観検討会の開催

県の景観アドバイザーである、日本大学理工学部天野特任教授及びNPO 法人くらしまち継承機構伊藤理事長をお招きし、現地視察をふまえ、交流施設や園内施設について、景観の観点から色彩・デザイン等の助言・アドバイスをいただきました。鮎壺公園は町の景観重要公共施設であることから、景観形成に配慮しながら、事業を進めていきます。

令和5年
1月20日



鮎壺公園果樹園の管理運営に関する協定書締結式

協定の締結

公園内に設置する果樹園の管理・運営について、鮎壺区内のボランティア組織「鮎壺公園果樹園倶楽部」と管理協定を結びました。果樹園では、柿やブドウ、みかんなど6種類のくだものを植樹し、親子での収穫体験などのイベントを企画していく予定です。

鮎壺公園の
工事の様子



令和4年
工事着手前

R4
12月



令和5年
3月8日

R5
1月

R5
2月

next year



建築物を解体し、造成工事が進みました。溶岩広場内の橋が完成したほか、子ども広場に大型複合遊具の設置が始まりました。